

# 物流部

## こんな人に向いています

- 自社の物流システムを深く理解し、効率よく確実に実行できる人
- データをもとに考え、仕組みを回すことが得意な人
- 現場発想で、DXや新しい技術を通して物流の変革に挑戦したい人

### 身につくスキル

全体最適を実現する  
**計画・管理能力**

トラブル発生時に最適解を選ぶ  
**判断力**

関係者の利害を調整し、合意へ導く  
**調整力**

社会課題に挑み、施策を形にする  
**突破力**

## [ 物流部のお仕事 ]

### 配送・配車計画の立案と最適化

売上や仕入計画、入荷予定データに基づき、精度の高い配車計画を策定します。定期便比率を高めることで、配送の安定化と持続可能なローコスト運営の両立を図ります。

### 物流システムの企画・開発

入荷予約システム「しまロジ」を運用、適時改修を行いながら最適化し、センター内待機時間の削減を推進します。



### 入荷・仕分・出荷の統括管理

センター内での物流（マテハン）設備を活用した効率的な入出荷管理を徹底し、店舗への遅滞のない商品供給を支えます。



### ESGへの取り組み

モーダルシフトによるCO<sub>2</sub>削減や、リサイクル資材回収・衣料品回収の実証実験を推進します。これらの取り組みを通じて、サプライチェーン全体の環境負荷低減と社会への貢献を推進します。

### どんな部署？



## グループの強みである「ローコストオペレーション」を仕組みと技術で支える

物流部の基本は「スピード」です。国内10カ所の自社商品センターでは、徹底した機械化により、荷物を手で扱うことなく高速で仕分け・出荷する体制を確立しています。この「スピード」の追求が滞留をなくし、結果として配送費や人件費の抑制につながっています。また、海外からの直接物流や、約600社のサプライヤーによる共同配送など、サプライチェーン全体の最適化を推し進めています。物流部では、仕入計画をもとに物量を予測し、運送会社様や商品センター、店舗の受け入れ状況を事前に調整することで、トラックの空きや待ち時間、無駄な配送を減らしています。単に物を運ぶのではなく、スピードを武器にムダをなくして、しまむらの強みであるローコストオペレーションを仕組みと技術で支えています。

## 物流部のお仕事

### 挑戦できること!

## 1 物流変革の最前線として、DXで現場を変える

予約システムの内製化など、自ら業務の仕組みを設計し、現場の手間や待ち時間、入力作業を削減できます。システム導入で終わらず、「使われて、成果の出るDX」を自分の手で形にし、物流のあり方そのものを変えていく手応えを実感できます。

## 2 社会課題を解決する「持続可能な物流網」の模索

「2024年問題」に正面から向き合い、鉄道や船を活用するモーダルシフトの推進や、定期運行比率を高める配車手法の確立に挑戦できます。コスト削減と安定供給、環境配慮を両立させ、将来に続く物流の形をつくる仕事です。

### 最適な判断で安定配送を支える

配車業務は、仕入側・店舗側双方の事情を理解し、運送会社との信頼関係のもとで成り立つ仕事です。日々の巡回で物流機器の異変を察知し、故障からくる配達遅延を未然に防止しています。「最速で店舗に届ける」指針のもと、安定した配送の実現にやりがいを感じます。

主幹  
R.Sさん





### 全体の流れを俯瞰し、最適解を導く仕事

店舗運営部と商品部での経験が、現在の全体と各店舗の在庫バランスの調整や、店舗の都合を踏まえた配送タイミングの判断に活かしています。配車業務では限られた予算内で積載効率を高め、週末に残貨ゼロで収まった時に大きな達成感を得ます。

主任  
M.Hさん



### ある1日の仕事

- 9:00 始業  
朝礼と入荷状況の確認をします。
- 9:15 配車  
WEB-EDIで翌日の荷量予測と不足台数の配車を確認します。
- 9:45 直流予約状況の確認  
直近5週間分の開放レーンを確認します。
- 10:00 センター内外巡回  
建物や物流設備に異常がないか確認します。  

- 12:00 配車調整  
WEB-EDIで、予測値とのプレを微調整します。
- 12:30 昼食
- 14:00 配車状況の確認  
未配の対策と今後の計画を立案します。  

- 14:30 業務改善検討  
配送最適化チームの課題整理、運送会社との商談をします。
- 18:15 退社

### [ 部長メッセージ ]

物流部は「スピードとローコスト」の両立を追求し、独自の仕組みでしまむらグループの土台を支える部署です。センター運営、DX、ESGなど挑戦の場は広く、データに基づき既存の仕組みを磨き上げ、最適化していく面白さがあります。多様な仲間と共に、物流の進化を通じて会社に貢献するやりがいを実感できます。

部長 H.Kさん

